

「CSR レポート 2008」を発行 「信頼」をキーワードに CSR 経営を打ち出す

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は、9月22日、「CSR レポート 2008」を発行した。「CSR レポート 2008」は、ステークホルダーに向けた横浜ゴムの基本的姿勢と具体的活動を紹介する冊子（全54ページ）で、昨年までは「環境・社会報告書」として発行してきたが、今年からCSR経営強化に伴い、タイトルを「CSR レポート」に変更した。冊子のPDF版、グループ会社の「CSR レポート（サイト情報）」、冊子の送付申込み方法などをインターネット（<http://www.yrc-pressroom.jp/env/>）に掲載している。また今年10月末までに英文のPDF版もインターネットに掲載する予定。

横浜ゴムは、2006年度から開始した新中期経営計画「GD100」の基本方針に「トップレベルの環境貢献企業」を掲げたのに続き、今年6月には「CSR本部」、社長を議長とした「CSR・環境推進会議」を新設し、CSR経営を一段と強化した。横浜ゴムではCSR（Corporate Social Responsibility）の「Responsibility」を、社会から「その行動が認められ、信頼されること」と解釈し、「社会から揺るぎない信頼を得ている地球貢献企業になる」ことを目指している。「CSR レポート 2008」では、こうした経営姿勢を紹介するため、「信頼されるグローバルカンパニー」を軸として、トップの考え方、CSR本部長の所信表明をはじめ、環境側面、社会側面での具体的な取り組みを記載した。



「CSR レポート 2008」の表紙

横浜ゴム株式会社 広報部広報・IRグループ
〒105-8685 東京都港区新橋5-36-11 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 5400-4570

■ 「CSR レポート 2008」 の構成と主な特徴

<構成>

I 横浜ゴムグループの概要

トップメッセージ
CSR 本部設立に当たって
企業理念／新中期経営計画
CSR 経営への取り組み
コーポレートガバナンス
CSR・環境中長期計画

II 環境側面

CSR・環境経営推進体制
環境「GD100」基本方針／行動指針
環境マネジメントシステム
グリーン調達・購買の強化と徹底
信頼される環境貢献商品の開発
環境対応生産
環境会計

III 社会側面

従業員と共に
社会と共に
取引先と共に
株主・投資家と共に
お客さまと共に
サイト情報の概要
アンケート結果／ステークホルダーとの対話
第三者による保証

<主な特徴>

①CSR 経営の記載を充実

「トップメッセージ」「CSR 本部設立に当たって」「CSR 経営への取り組み」「CSR・環境経営推進体制」などのページで、横浜ゴムグループの CSR 経営の方針、施策などを記載した。

②CSR・環境中長期計画を公表

昨年までの「環境中長期計画」を見直し、CSR 経営に関する活動目標を盛り込んだ「CSR・環境中長期計画」へとより内容を充実させた。

③環境貢献商品の紹介を充実

商品開発での環境貢献活動をより詳しく紹介するため、環境貢献商品ページの内容を見直した。タイヤを中心に多様な環境貢献技術、環境性能に優れた幅広い商品群を、写真をふんだんに使用して分かりやすく記載した。

④「YOKOHAMA 千年の杜」を写真で紹介

2007 年 11 月の平塚製造所での植樹祭を皮切りに本格的にスタートさせた植樹活動「YOKOHAMA 千年の杜」プロジェクトについて、写真を中心として分かりやすく紹介した。

⑤生産拠点の情報公開は 22 拠点に増加

インターネットで紹介する横浜ゴムの生産事業所と国内外の製造販売グループ会社の総数は、2007 年度から 2 拠点増加し 22 拠点となった。また 2008 年度からタイトルを各拠点の「サイト情報」から「CSR レポート」に変更した。

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）広報部 担当：入江、石塚
TEL:03-5400-4532 FAX:03-5400-4570